



# 「全スタンドで25円安」 民主案をつぶした与党

もし昨夏の参院選で与党が勝っていたら...

4月1日からガソリン税が25.1円下がりました(暫定税率の廃止)。2月頃までは「実現するはずない」と思っていた方も多かったかもしれませんが、これが実現したのは、昨夏の参院選で野党に過半数を頂き「ねじれ国会」になったからです。もし仮に、参院選で与党が勝利していたらどうなっていたか想像してみてください。

- ・領収書の無いタクシー券23億円
  - ・官僚の天下り先への税金の支出12兆円。しかも98.3%が随意契約。
- といった道路特定財源の無駄づかいが表に出ないまま、さらに10年間、道路特定財源と暫定税率が維持されていたのです。野党が、政府与党の無駄使いを止め、生活に直結する大きな税制改正を実現したのは画期的なことです。

神奈川16区総支部でも、ガソリン税等暫定税率廃止を求める署名運動を本厚木駅北口と伊勢原駅南口で実施し、1,712名のご署名を頂きました。ご協力ありがとうございました。

## 混乱の責任は政府与党にあり

残念ながら4月初めの1週間程度はスタンドによってガソリンの引下げ幅に差が出ます。また、売切れてしまうスタンドも出てきます。この混乱を回避するため、民主党は4月1日から全てのスタンドで25円引下げできる(スタンドが自腹を切らないですむ)法律を3月21日に国会に提出しましたが、与党はこれを拒否しました。つまり、消費者とスタンドに混乱をもたらした責任は政府・与党にあります。

ガソリン税は、製油所から出荷する段階で税率が決まるため、3月末に出荷されてスタンドに残っているガソリンを4月に売っても税率は高いままです。これを避けるため、民主党の法案では、4月1日に一旦製油所に返品し、買い直したとみなすことにし、全てのスタンドが自己負担無く25円引下げできるようにしようとしてきました。このやり方は前例があり、かつわざわざ法律を通さなくても告示(政府の通達一本)で混乱回避できたのです。政府内部でも民主党方式で混乱回避すべきとの意見があったにもかかわらず、黙殺されました。3月26日の衆議院経済産業委員会においても、経済産業大臣が「混乱を回避するために努力をするのは政府の責任である」と答弁しています。

(裏面に続く)

## なぜ「巻き添え増税」は回避され、スタンド混乱は回避されなかったのか。

4月1日から、不動産の登録免許税や金融オフショア税制が「巻き添え増税」となる可能性がありましたが、土壇場で与野党合意し、3月31日に法案が成立、混乱は回避されました。なぜ、「スタンド混乱回避法案」は与野党合意できなかったのでしょうか。

どうやら3月31日に「混乱回避法案」を通しても4月1日の在庫は確保されず、混乱は避けられないと判断したからのようです。しかし、たとえ少し遅れても3月31日に混乱回避法案を成立させれば、在庫不足は発生しても値下げ幅は25円で統一され、スタンドが自腹を切ることはなかったはず。この混乱回避を放棄した政府与党の責任は極めて重く、「どうせ混乱がおきるなら、民主党のせいにしてしまえ」という下心が垣間見えます。

## 「再議決ガソリン増税」したら、解散総選挙でご判断を！

4月29日には、暫定税率維持を盛り込んだ法律が衆院を通過して60日経つため、衆院で再可決して暫定税率分を再値上げすることが可能となります。福田政権は、国民の7割が賛成している25円引下げを一時的なものとしてしまい、再値上げ(増税)するつものようです。

もし再値上げしたら、国民の民意からかけ離れた衆院を変えるしかありません。解散総選挙で、ガソリン問題についての国民の皆様の審判を仰ぎたいと思います。

## ご協力をお願い

現在、ごとう祐一の活動は皆様の寄附、ご協力によって支えられています。ご協力いただける方は、事務所までご連絡いただくか、お名前とご連絡先をご記入の上、下記番号にFAXをお送りくださいますと幸いです。よろしく願いいたします。  
(TEL 046-296-2411 FAX 046-296-4811)

- ごとう祐一通信を近所に配れます ( 部程度)
- ごとう祐一を囲んだミニ集会を開きます
- 事務所で封詰めなどの簡単な作業が手伝えます
- 知人・友人・家族を紹介できます
- ポスターの掲示場所を提供できます
- ごとう祐一へのカンパができます

お名前

電話番号



**プロフィール**

- 昭和44年 横浜市生まれ
- 昭和59年 横浜市立上野町中学校卒業
- 昭和62年 神奈川県立厚木高校卒業
- 平成4年 東京大学法学部卒業後、通商産業省入省 (現経済産業省)
- 平成10年 スタンフォード大学客員研究員
- 平成11年 カナダ政府外務貿易省勤務 (FTA 担当)
- 平成17年 13年間勤めた経済産業省を退職
- 平成18年 衆議院補欠選挙で惜敗 (80,450票対109,464票)

現在 妻、息子、娘の4人家族。  
厚木市郊外在住。38歳。

## ごとう祐一事務所

〒243-0017  
厚木市栄町 2-4-28-212  
TEL: 046-296-2411  
FAX: 046-296-4811



来てね

